

LS-3562 ハンディー 多機能蛍光灯ランタン

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

pdf版



ライト機能 (4ファンクション)

サーチライト
常夜灯
4W 蛍光灯
点滅

ラジオ機能

AMラジオ
FMイドラジオ (TV1~ 3ch)

警報機能

サイレン

RX0011C

仕様

ラジオ

使用乾電池	単 乾電池 × 3本	
受信周波数	AM	530~ 1605kHz
	FM	76~ 108MHz
最大出力	約 200mW	
乾電池寿命	マンガン乾電池	約 3時間
	アルカリ乾電池	約 90時間

ライト

使用乾電池	単 乾電池 × 4本		
使用電球	電球 (E17球クリプトンガス入り)	4.8V 0.5A	
	蛍光管	FL-4またはFL-4D	
乾電池寿命 (各ファンクションのみを使用した場合)	サーチライト	マンガン乾電池	約 5時間
		アルカリ乾電池	約 15時間
	常夜灯	マンガン乾電池	約 30時間
		アルカリ乾電池	約 80時間
蛍光灯	マンガン乾電池	約 5時間	
	アルカリ乾電池	約 15時間	

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
- お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

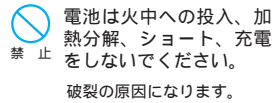
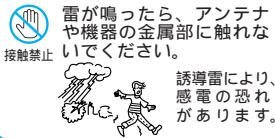
この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものであります。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

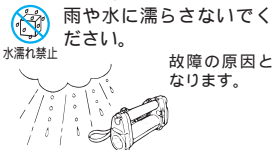
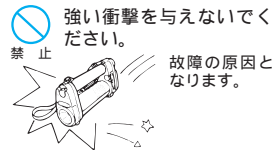
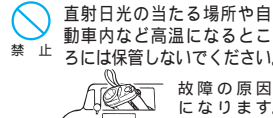
安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告



注意

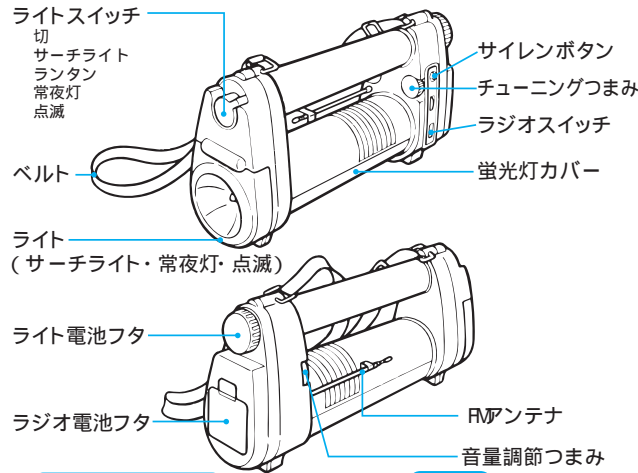


お願い

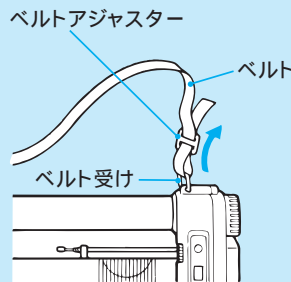
次の事を守らないと電池が液もれの原因となります。電池の液もれを防止するため次の内容をお守りください。電池の使用表示に従って正しくご使用ください。ご使用後は必ずスイッチを切ってください。定期的な点検（動作の確認、液もれの有無）をしてください。使い切った電池はすぐに取り出してください。新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

1

各部の名称とはたらき



ベルトの装着方法



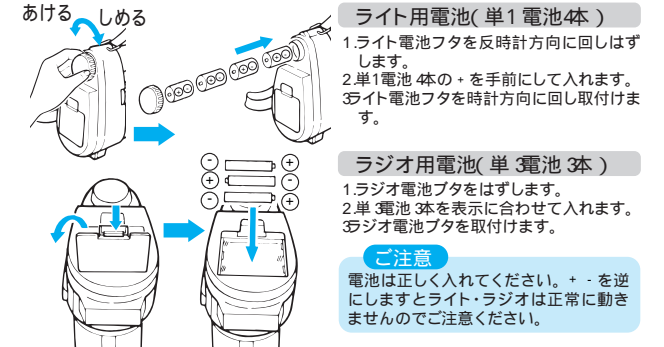
付属品



- 1 本体のベルト受け部にベルトを通します。
- 2 ベルトアジャスターにベルトを通します。
- 3 ベルトの長さを調整し、ベルト先端を引っ張ります。

2

電池のセット

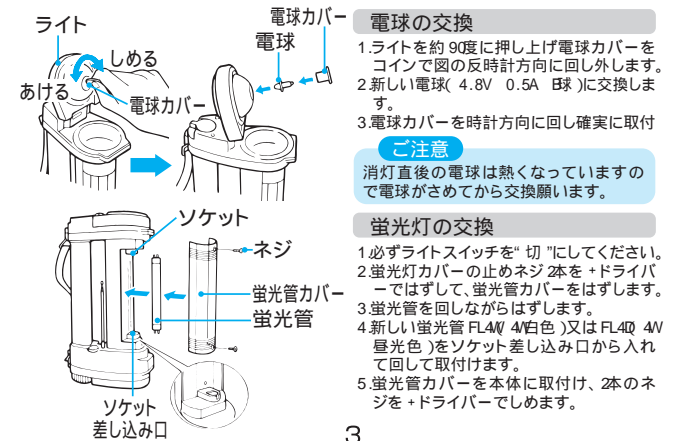


- ### ライト用電池(単1電池4本)
1. ライト電池フタを反時計方向に回しはずします。
 2. 単1電池 4本の+を手に前に入れて入れます。
 3. ライト電池フタを時計方向に回し取付けます。
- ### ラジオ用電池(単3電池3本)
1. ラジオ電池フタをはずします。
 2. 単3電池 3本を+を手に合わせて入れます。
 3. ラジオ電池フタを取付けます。

ご注意

電池は正しく入れてください。+-を逆にしますとライト・ラジオは正常に動きませんのでご注意ください。

電球、蛍光灯の交換



- ### 電球の交換
1. ライトを約90度押し上げ電球カバーをコインで図の反時計方向に回し外します。
 2. 新しい電球(4.8V 0.5A 1球)に交換します。
 3. 電球カバーを時計方向に回し確実に取付
- ### ご注意
- 消灯直後の電球は熱くなっていますので電球がさめてから交換願います。

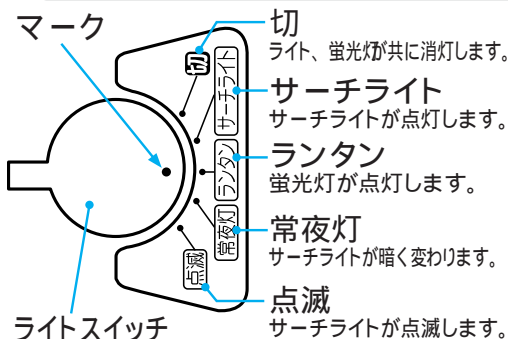
蛍光灯の交換

- 1 必ずライトスイッチを"切"にしてください。
- 2 蛍光灯カバーの止めネジ2本を+ドライバーではずして、蛍光灯カバーをはずします。
- 3 蛍光灯を回しながらはさずします。
- 4 新しい蛍光灯FL4Q 4(白色)又はFL4Q 4V(昼光色)をソケット差し込み口から入れて回して取付けます。
- 5 蛍光灯カバーを本体に取付け、2本のネジを+ドライバーでしめます。

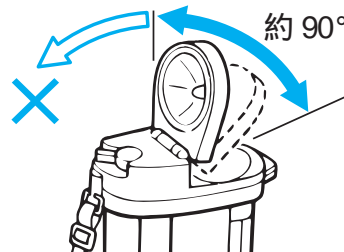
3

使いかた

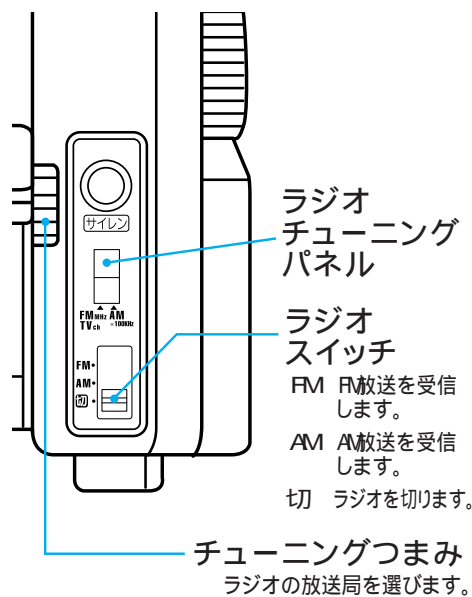
ライトの使いかた



1. ライトスイッチのマークを表示に合わせて使用します。
2. ライト部は約 90度可動することができます。



ラジオの使いかた



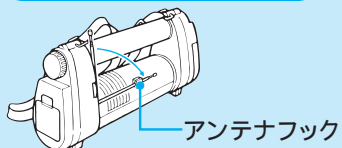
1. ラジオスイッチを“ AM”または“ FM”に合わせます。
2. 音量調節つまみで音量を調整します。
3. ラジオを止めたいときは、ラジオスイッチを“ 切 ”にします。

アンテナについて
 FM放送を聞くとき
 FMアンテナを伸ばし、受信状態の良い方向に向けて、お使いください。
 AM放送を聞くとき
 受信状態の良い方向に向けて、お使いください。

ご注意

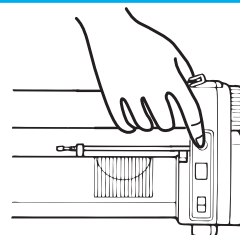
蛍光灯点灯時は AM放送は自動的に停止します。故障ではありません。乗り物やビルの中では、電波が弱められ受信状態が悪くなる場合があります。金属製品などにラジオを近づけると受信状態が悪くなる場合があります。金属製品から離してお使いください。

FMアンテナの収納



FMアンテナの収納は垂直にアンテナフックにはめ込みます。はずすときは垂直に引き上げてください。

サイレンの使いかた



1. サイレンボタンを押すと鳴りだし、もう一度押すと停止します。

ご注意

ラジオ使用時、サイレンボタンを押すとラジオは停止しサイレンが鳴ります。サイレン音は大きな音で鳴りますので無闇に押さないでください。

こんなときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、次の点検をしてください。

こんな時は？	調べるときは	処 置
ライトが点灯しない、暗い。	電池の入れ方が間違っていますか？	電池を表示通り入れ直してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と取り替えてください。(単 乾電池 4本)
	電球が切れていませんか？	新しい電球と取り替えてください。
ラジオが鳴らない。雑音が入る。	電池の入れ方が間違っていますか？	電池を表示通り入れ直してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と取り替えてください。(ラジオ用単 乾電池 3本)
	他の電気器具(蛍光灯、モーターなど)が近くにありませんか？	雑音を発生する電気器具(蛍光灯、モーターなど)から遠ざけてください。
蛍光灯が点灯していて、ラジオスイッチが“ AM”位置になっていませんか？		蛍光灯を消してください。故障ではありません。
警報ブザーが鳴らない。	電池が消耗していませんか？	新しい電池と取り替えてください。(ラジオ用単 乾電池 3本)

お手入れ

ケースなどの汚れおとしには、乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふき取るときれいになります。